

〇〇経済産業局長 殿

要望者（補助事業者）

商店街組織

住 所

名 称

代表者氏名

印

民間事業者 ※商店街組織と連携して事業を実施する場合のみ

住 所

名 称

代表者氏名

印

平成29年度 地域文化資源活用空間創出事業（商店街支援事業）要望書

地域文化資源活用空間創出事業（商店街支援事業）のうち以下の事業に係る補助金の交付を受けたいので、別紙書類を添えて提出します。

「地域文化資源活用交流促進事業」に「○」を記載してください。

（該当する事業に、○を記入してください。）

	地域文化資源活用空間整備事業
○	地域文化資源活用交流促進事業

（上記の両事業ともに○を記入した場合は、下記の該当する欄へ○を1つ記入してください。）

記載不要	両事業とも採択された場合のみ補助事業を実施する
	両事業とも採択された場合、又は地域文化資源活用空間整備事業のみ採択された場合に補助事業を実施する
	両事業とも採択された場合、又は地域文化資源活用交流促進事業のみ採択された場合に補助事業を実施する
	いずれかの事業が採択された場合、補助事業を実施する

注意
 計画書作成時に、文字ポイントを変更しないでください。

事業計画書（地域文化資源活用交流促進事業）

(1) 補助事業者について

商店街の正式名称(〇〇商店街振興組合、△△商店街協同組合等)を記載してください。
 ※定款・規約等に記載されている正式名称を記載すること。

【商店街組織】

名称	〇〇商店街振興組合		代表者	役職：理事長 氏名：〇〇 〇〇	
所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地		担当者	役職：事務局長 氏名：〇〇 〇〇	
法人番号 ※国税庁が指定した番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		担当者連絡先	電話：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇 FAX：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇 E-mail：〇〇〇@〇〇.〇〇	
組合員数 (加入者数等)	〇〇名	商店街を構成する店舗数	〇〇店舗	商店街内の空き店舗数	〇〇店舗
設立年月日	〇〇年 〇月 〇日	中小指針の適用	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	中小会計要領の適用	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
商店街の概況 (特徴、立地、店舗構成、来街者の概況、取組状況、商店街が抱える課題等)	<p>〇〇商店街は、江戸時代から続く城下町として発展してきた地域内にある歴史の長い商店街である。また、〇〇駅から〇m・徒歩〇分に位置し、〇〇市の中心地に立地している。商店街は飲食店〇店舗、物販店〇店舗（日用雑貨品店〇店舗、薬局〇店舗、服飾店〇店舗）、サービス店〇店舗（マッサージ店〇店舗、ネイル店〇店舗）等、計〇〇店舗で構成されており、創業〇〇〇年の和菓子屋等の老舗店も数店存在する。</p> <p>駅の近くに位置することから、平日には通勤・通学者によりサラリーマンや学生等も多く訪れているが、学校・仕事が休みになる土日祝日には人通りが途絶えてしまう傾向にあり、休日の来街者確保が課題となっている。また、ここ数年、近隣の〇〇〇城には、多くの外国人観光客が訪れているのに対して、〇〇商店街にはそれほど多くの外国人観光客は訪れていない状況にある。</p> <p>先般の台風21号の際には、強風によりアーケードの天蓋部分が〇mにわたって落下する被害が生じた。現在は復旧しているが、復旧が完了するまでの長期間にわたって来街するお客様の通行に影響を及ぼした。前年同期と比較すると、歩行者通行量は〇%減少し、商店街の売上高も〇%減少している状況。</p>				
意欲ある若手リーダー、青年部、女性部等の活動	女性部はこれまで〇〇〇や〇〇〇などの活動をしており、独自で〇〇〇を開催するなど商店街活動への積極的な参画がある。今回の〇〇〇も女性部が中心となって開催することで、〇〇〇の効果があると思う。				

国税庁が指定した13桁の法人番号を記載してください。(法人の場合のみ)

中小指針、中小会計要領の適用有無について、該当するものを〇で囲んでください。
 なお、適用の有無は、本事業の採否に影響ありません。

中小指針：会計専門家が役員に入っている会計参与設置会社が扱えることが適当とされているように、一定の水準を保った会計処理
 中小会計要領：中小指針に比べて簡便な会計処理をすることが適当と考えられる中小企業が利用することを想定した会計処理
 (ご参考：<http://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/youryou/index.htm>)

商店街の特徴、立地状況、店舗構成、来街者の概況や商店街活動の取組状況、現在商店街が抱えている課題等について具体的に記載してください。

台風19～21号等の、平成30年8月20日から9月5日までの間の暴風雨及び豪雨による災害によって被害を受けた山形県、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県に所在する商店街においては、当該災害による被害状況について記載してください。

【民間事業者】※連携体を構成して事業を実施する場合は記載のこと

名称	一般社団法人〇〇観光協会		代表者	役職：理事長 氏名：〇〇 〇〇	
所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地		担当者	役職：企画担当 氏名：〇〇 〇〇	
法人番号 ※国税庁が指定した番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇		担当者連絡先	電話：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇 FAX：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇 E-mail：〇〇〇@〇〇.〇〇	
資本の額 又は出資の総額	〇〇〇万円	従業員数	〇〇名	主たる業種	〇〇業
設立年月日	〇〇年 〇月 〇日	中小指針の適用	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	中小会計要領の適用	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
活動状況 (当該地域のまちづくりやコミュニティ活動への参画状況)	〇〇市の観光協会であり、〇〇市の観光に関する紹介宣伝及び観光案内、イベント等を実施している。また、〇〇商店街の実施するイベントに企画段階から関わるなど、〇〇商店街と連携した活動も実施している。				

(記載上の注意)
 (商店街組織、民間事業者がそれぞれ複数になる場合は、適宜記載欄を追加してください)

連携体として申請する場合、民間事業者がこれまで当該地域のまちづくりやコミュニティ活動へどのように参画してきたかについて具体的に記載してください。

注意
 計画書作成時に、文字ポイントを変更しないでください。

事業計画書（地域文化資源活用交流促進事業）

(2) 事業計画

①補助事業の内容

事業名	地域文化資源である〇〇〇と連携したイベントの開催
事業実施場所	〇〇商店街広場及び〇〇〇
活用を予定する地域文化資源	<p>【地域文化資源名①】 〇〇〇 【特徴、地域との関わり等】 当地域の名所である〇〇〇は、400年の歴史があり、国の重要文化財にも指定されている。また、〇〇〇には、年間100万人以上の観光客が訪れ、そのうち1割は外国人観光客が占めている。 【補助事業における活用方法、連携内容等】 〇〇〇と連携して、イベントを開催し、商店街へ外国人観光客を呼び込む。</p> <p>【地域文化資源名②】 〇〇〇 【特徴、地域との関わり等】 〇〇〇は、〇〇で、〇〇〇である。 【補助事業における活用方法、連携内容等】 開催するイベントで、〇〇〇を活用した記念品を配布する。</p>
事業説明	<p>【実施予定の事業】 来街者が少ない休日に〇〇商店街へ誘導するためには、周辺エリアに居住する地域住民はもちろんのこと、〇〇駅利用者をも取り込む必要がある。当地域の名所である〇〇〇と連携して、〇〇〇のイベントを月末の金土日に継続的に開催することにより、外国人観光客等を商店街に呼び込む。 ノウハウが必要なことから、連携先である〇〇観光協会のほか、〇〇市、〇〇会議所等関係団体とも連携して実施していく。 具体的には以下の事業を実施する予定である。</p> <p>①〇〇〇イベントの開催 当地域の名所である〇〇〇と連携して、〇〇〇関連のイベントを開催し、商店街へ外国人観光客等を呼び込む。イベントは8～11月のそれぞれ月末の金土日に開催する。同日に、〇〇〇でも、連動したイベントを開催し、商店街と〇〇〇の間での回遊性を創出する。</p> <p>②〇〇〇を活用した記念品 〇〇〇を活用した記念品を作成し、イベントで配布する。記念品は主に外国人観光客に配布する。</p>
プレミアムフライデーの活用方法	<p>イベントは月末の金土日に開催し、商店街の各店舗では、特別セール等を実施する。また、作成するポスターには、プレミアムフライデー関連イベントである旨を明記し、誘客を図る。</p>
事業実施体制	<p>〇〇商店街は、各関係機関との調整、また本補助事業に係る経理等を担う。理事長は地域文化資源所有者等との調整、理事Aは関係機関等との連絡調整、また補助事業に係る進捗管理、事務局員Aは経理等の事務を担当する。</p> <p>〇〇観光協会は、イベントの計画・運営等を担う。代表が本事業の全体統括として、実施状況の管理、監督を行い、事務局員は〇〇商店街と連携して〇〇を担当する。</p> <p>また、本事業の実施にあたっては、〇〇市や〇〇商工会議所等が〇〇や〇〇について助言や人的支援について協力を表明しているほか、地元大学の〇〇大学〇〇〇〇教授から指導等を受けることとなっている。</p>
補助事業実施予定期間	平成〇〇年 〇月 〇日 ~ 平成〇〇年 〇月 〇日

注意
計画書作成時に、文字ポイントを変更しないでください。

事業計画書（地域文化資源活用交流促進事業）

②事業実施効果

事業実施による効果		〇〇〇イベントの開催により、商店街の認知度を向上させ、イベント実施後の来街者数、外国人観光客数、売上げの増加を図る。					
外国人観光客の割合は、少なくとも400人程度の歩行者に占める外国人観光客数の割合を測定してください(400人程度の歩行者に占める割合の測定が困難な場合には、1日の歩行者通行量の半数程度を目安として測定してください)		売上高の把握方法については、原則、商店街等を構成する半数以上の店舗の当該1年間の売上高の総計としてください。また、目標数値は、売上高の実測値(〇〇円)を記載してください。		その他については、実施する事業の特性に応じて、目標数値を設定してください。例えば、継続して実施予定の当該イベントでの満足度など。			
歩行者通行量の測定については、イベント実施時等ではない平常時の商店街の利用時間に行うこととし、同一月内における2日間の平均値としてください。報告にあたっては、同様の手法(測定時間、測定場所等)を用いてください。		(A)	(B)	(A×B)	その他の指標		
		歩行者通行量 (人/日)	外国人観光客の割合 (%)	外国人観光客数 (人/日)	売上高 (万円/年)	イベントに対する満足度	
※外国人観光客の割合は、少なくとも400人程度の歩行者に占める外国人観光客数の割合を測定してください(400人程度の歩行者に占める割合の測定が困難な場合には、1日の歩行者通行量の半数程度を目安として測定してください)		数値	〇〇人/日(平均)	〇〇%	〇〇人/日	〇〇万円/年	
※売上高は、当該年度1年間の総計としてください		備考	<調査日時> ①平成〇〇年〇月〇日 (〇〇時~〇〇時) ②平成〇〇年〇月〇日 (〇〇時~〇〇時)	<調査日時> 平成〇〇年〇月〇日 (〇〇時~〇〇時)	平成〇〇年〇月 〇〇店舗ヘリアリング調査 (〇〇年度分売上) 災害前:〇〇万円/月 災害後:〇〇万円/月	イベント実施前のため計測不可	
※その他の指標は、実施予定の事業に応じた指標を設定してください(事業で整備した施設・設備等の利用者数や売上高等)		平成31年度	目標数値	〇〇人/日(平均)	〇〇%	〇〇人/日	〇〇万円/年
※備考欄は数値の測定日等を記載してください		平成32年度	目標数値	〇〇人/日(平均)	〇〇%	〇〇人/日	〇〇万円/年
		平成33年度	目標数値	〇〇人/日(平均)	〇〇%	〇〇人/日	〇〇万円/年
歩行者通行量		【目標数値の根拠】 本商店街の歩行者通行量は平成〇〇年から〇〇年にかけて〇〇%減少しており、平成〇〇年の消費動向調査によると地元購買率も〇〇%低下している。しかし、本事業実施により、商店街の認知度の向上を図り年間〇〇%の増加を目標値とする。 【事業効果の検証方法】 評価委員会を設置し、事業効果の検証を行う。補助事業の効果が十分に得られない場合には、〇〇することにより事業効果の増大を図る。					
外国人観光客数		【目標数値の根拠】 事業実施前に計測した本商店街の外国人観光客数は1日あたり〇〇人であり、外国人観光客の誘客は課題となっている。一方で、本商店街近隣の観光スポット〇〇には多くの外国人観光客が訪れており、本商店街にも多くの外国人観光客を呼び込めると考えている。 本事業実施により、近隣の観光名所〇〇〇〇などから外国人観光客を呼び込みたいと考えている。近隣の観光名所〇〇〇〇では、外国人観光客が年間〇〇%増加しており、本商店街においては、年間〇〇%の増加を目標値とする。 【事業効果の検証方法】 評価委員会を設置し、事業効果の検証を行う。補助事業の効果が十分に得られない場合には、〇〇することにより事業効果の増大を図る。					
売上高		【目標数値の根拠】 平成〇〇年度~平成〇〇年度の商業統計では、年間販売額は平成〇〇年に〇〇円、平成〇〇年に〇〇円、平成〇〇年に〇〇円と減少が続いている。同様に、本商店街の年間売上額も〇〇%と減少しているが、本事業実施および〇〇〇〇等の商店街の自主取組により新たな来街者が見込まれ、さらに各個店が店舗の魅力を高める工夫をすることで、来街者〇〇人のうち〇〇%程度は購買行動につながると想定されるため、〇〇%の売上増加が期待できる。 【事業効果の検証方法】 評価委員会を設置し、事業効果の検証を行う。補助事業の効果が十分に得られない場合には、〇〇することにより事業効果の増大を図る。					
その他の指数							

台風19~21号等の、平成30年8月20日から9月5日までの間の暴風雨及び豪雨による災害によって被害を受けた山形県、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県に所在する商店街においては、当該災害の前の・後の月単位の売上高を、「備考」欄に記載してください。
なお、罹災証明書若しくは被災証明(取得が困難な場合は写真等で代替可)を提出する場合には、記載不要です。

注意

計画書作成時に、文字ポイントを変更しないでください。

事業計画書（地域文化資源活用交流促進事業）

		(A)	(B)	(A×B)	
		歩行者通行量 (人/日)	外国人観光客の割合 (%)	外国人観光客数 (人/日)	
目標数値(イベント開催時) ※補助事業におけるイベント開催時の目標数値を設定してください ※「商店街内」欄には、目標数値(平常時)で計測する場所での数値を設定してください ※それぞれのイベントの開催日が複数日に渡る場合は、それぞれ1日あたりの目標数値を設定してください ※イベント開催回数が5回以上ある場合などについては、必要に応じて、行を増やすなどしてください	1回目	開催 予定日	平成〇〇年〇月〇日		
	イベント会場	目標 数値	〇〇人/日	〇〇%	〇〇人/日
	商店街内	目標 数値	〇〇人/日	〇〇%	〇〇人/日
	2回目	開催 予定日	平成〇〇年〇月〇日		
	イベント会場	目標 数値	〇〇人/日	〇〇%	〇〇人/日
	商店街内	目標 数値	〇〇人/日	〇〇%	〇〇人/日
	3回目	開催 予定日	平成〇〇年〇月〇日		
	イベント会場	目標 数値	〇〇人/日	〇〇%	〇〇人/日
	商店街内	目標 数値	〇〇人/日	〇〇%	〇〇人/日
	4回目	開催 予定日	平成〇〇年〇月〇日		
	イベント会場	目標 数値	〇〇人/日	〇〇%	〇〇人/日
	商店街内	目標 数値	〇〇人/日	〇〇%	〇〇人/日

③効果の継続性

補助事業の効果を継続させる工夫	本事業実施により商店街の認知度の向上、外国人観光客等の来街を促していく。また、事業終了後も、〇〇〇に関連したイベントを定期的に開催し、継続的に商店街の活性化を図っていく。 〇〇商工会議所や地元大学の〇〇大学、その他地場企業等とも連携体制を構築し、〇〇商店街活性化について引き続き活動していく予定である。
-----------------	--

・補助事業の効果に継続性を持たせるための取組を具体的に記載してください。